

中国・四川大地震パンダプロジェクト

2008年5月12日、中国・四川省をM8級の地震が襲いました。死者・行方不明者8万人以上、数百万人が避難生活を続ける大災害に対し、私たちは「忘れない、思いをはせる、気持ちを届ける」を合言葉に日本からの支援策を探ってきました。そこで生まれたのが「パンダタオル」です。見た目はかわいくとも、被災地と私たちをつなぐメッセンジャー。当通信は、パンダタオルをめぐる活動や被災地の状況をお伝えしながら、復興支援への協力を呼び掛けます。

～被災地は今～

第1回・棚花村の震くん

うずたかい瓦礫(がれき)の山、廃墟となった町、見渡す限りのテントと仮設住宅ー。

世界最大級の内陸型地震に見舞われた中国・四川省の被災地は、半年たってもこのありさま。その被害の大きさと被災者の置かれた状況の深刻さは、日本の私たちの想像をはるかに超えるものでした。

私が四川を訪れたのは11月6日から11日。地震発生直後から被災地にテントを送る活動をしている静岡県ボランティア協会の鳥羽茂事務局長と、海外で延べ40回以上もの被災地支援の活動実績があるCODE海外災害援助市民センターの村井雅清事務局長の活動にご一緒させていただく形でした。

日本の私たちが、小さなことでもいいから何かできないか。地震発生以来、私たちは議論を重ねました。隣国とはいえ、中国は政治体制の違う国。しかも今回はオリンピックという国家イベントの直前。単純にお金を届けるという発想ではない支援の仕方、そしてオリンピック後の、国際的な関心が急速に薄れていくであろう時期を見据えなければー。そこで私たちがたどり着いたのが「パンダタオル」なのです。ヒントにしたのは阪神大震災の被災者がつくり始めたゾウをかたどった壁掛けタオル「まけないぞう」。被災者の心のいやしと収入源として、その運動は今や全国に広がっています。ところが、今回は「四川にパンダ」と



いささか直接的なうえ、被災者自身がつくるものではないため、中国の人たちにどんな反応をされるのかはわかりません。

そんな不安を抱えながら、現地で最初にパンダタオルを手渡したのが写真の赤ちゃん。四川省中部の棚花村という小さな村で偶然出会ったのですが、お母さんによると地震発生当日の5月12日に生まれた男の子で、なんと地震にあやかって「震」くんと名づけたそうです。文化の違いは感じるものの、「地震に負けないようにたくましく育ててほしい」という親の思いは伝わります。一瞬にして何万人もの命が失われたあの日、こうして新たな命が生まれていたことに感動を覚えました。

お母さんの優しい笑顔と震くんのあどけない表情の後ろに、村の人たちが暮らすテントと住宅再建のため大量に運び込まれたレンガの山があります。復興までにはいくつもの難関があるでしょうが、心を合わせて乗り越えてほしい。そのために、このパンダタオルが少しでも役立ってほしいと願いました。

(文・写真=レスキューストックヤード事務局・関口威人)

心をつなぐパンダタオル!



11月25日パンダタオル手作り教室の様子
名古屋国際センターにて

作り手さんの感想

- ・時間・手間がかかったので、完成したパンダを見て、喜びを感じた。
- ・難しかったので、余計に愛着がわいた。四川大地震を忘れないようにしたい。
- ・久々に針と糸を使い悪戦苦闘でした。パンダタオル、心の支えになってくれれば。
- ・決して上手ではないけれど、喜んでくれる顔を想像し、心をこめて作った

😊パンダタオルの輪😊 ☆思いよ、届け☆

○10月	内容	場所
25日	一宮盲学校生徒・PTA対象、パンダタオル作り実施	一宮聾学校(ライオンズクラブ主催)
25日~26日	ワールド・コラボ・フェスタ 2008 パンダタオル作りを実施	久屋大通公園・オアシス21
○11月		
6日~11日	パンダタオル55個を現地の子どもたちなどにお届け	中国 四川省
13日	第1回パンダタオル手作り教室	事務所(レスキューストックヤード)
25日	四川大地震第2回現地報告&パンダタオル手作り教室	名古屋国際センター
30日	平成20年供米田学区地域防災大会 パンダタオル作り実施	供米田中学校

【まめまめ四川】①「四川」って何の川?

四川省は中国内陸部に位置し、面積約48万平方キロ、人口約9千万人。四川という名前は、四川盆地を流れる長江の4つの支流に由来するという説や、宋の時代にこの地方に置かれた「川峡路」という行政区画が、後に4つに分割されたから、という説がある。(関口)



事務局より

●作り手さん大募集!!「パンダ作り教室」を開催!

1月14日(水)13:00~15:00

1月21日(水)19:00~21:00

※参加自由。パンダキット1セット100円で販売します。

場所:NPO 法人レスキューストックヤード事務所

(地下鉄東山線「本山駅」下車2番出口から徒歩2分)

●「パンダ教室」をイベントによんでください!

四川大地震写真パネルの貸し出しやパンダづくり講師を派遣します。(パネル貸出無料。講師交通費はご負担下さい)

●パンダタオルプロジェクト募金にご協力下さい。

パンダタオルを作成・送付するためには必要経費として、材料費や郵送料等が必要です。活動資金のご協力をお願いします。

[お振込み先] 郵便振替:00800-3-126026

加入者:特定非営利活動法人レスキューストックヤード

※通信欄に「中国四川大震災支援」と明記してください